

な おんな
泣く女
う ろろ子

LEVEL
1



朗読音声のダウンロード
Audio download

★よまえ 読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.





めきしこ むら
むかしむかし、メキシコのある村に

おんな ひと
とてもきれいな女の人がありました。

なまえ まりあ
名前は マリアでした。



ひ
ある日、
とてもハンサムなスペイン人の男が、
まりあむらき
マリアの村に来ました。



おとこ ひと まりあ す
男の人は、マリアが好きになりました。
まりあ おとこ ひと す
マリアも男の人が好きになりました。



ふたり けっこん
二人は 結婚しました。



さん^{にん} こ^う
三人の子どもが生まれました。

おとこ^こ だいす^こ あそ^び
男は子どもが大好きでした。子どもとよく遊

びます。でも、まりあ^あとあまり^{はな}話しません。

まりあ^{かな}
マリアは悲しいです。



ある日、男は ^ひ ^{おとこ} どこかへ ^い 行きました。

そして、その日、うちに ^ひ ^{かえ} 帰りませんでした。

^{つぎ} ^ひ 次の日も、^{つぎ} ^ひ ^{かえ} その次の日も帰りませんでした。

そして、^{いちねん} ^た 一年 経ちました。



ある日、マリアと子どもたちは川に行きました。

そして遊びました。川にだれか来ました。

子どもたちが、「あ、お父さんだ！」

と言いました。マリアはびっくりしました。

男は、きれいな女といっしょでした。



おとこ こ み
男が子どもたちを見ました。

い
そして、言いました。

わたし こ
「おお、私のかわいい子どもたち。

あ いそが
会いたかったよ。でも、忙しかったんだよ」

おとこ まりあ ほう み
男は、マリアの方を見ませんでした。

まりあ なに い
マリアは何も言いませんでした。



まりあ おこ
マリアは、とてもとても怒りました。

そして……、
こ かわ な す
子どもを川に投げ捨てました。

どぶん！ また、どぶん！

そして、また、どぶん！



まりあ なが あいだ かわ
マリアは、長い間、川のそばにいました。

それから、^{おお}大きな^{こえ}声^だを出しました。

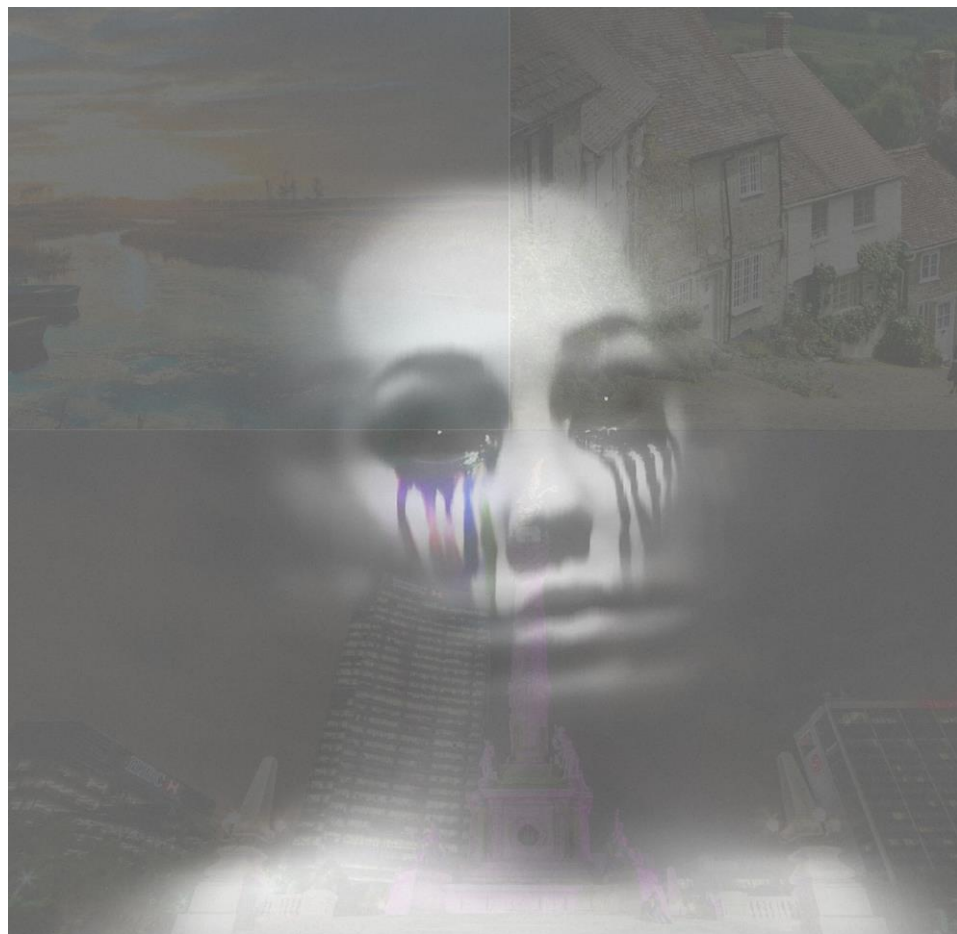
^こ「子どもたちはどこ？」

^こ子どもたちがいない……………どうして?!」



まりあ な
マリアは、泣きました。
かわ なか はい
そして、川の中へ入りました。

まりあ
マリアも、もういません。



それから、^{めきしこ}メキシコでは、^{よる}夜、^{しろ}白い服の女の
^{ひと}ひと ^{むら}村や ^{まち}町 ^{ある}を歩きます。

そして、^{かな}悲しい声で ^{こえ}泣きます。

^{わたし}「^こ私の子どもは、どこ？」

^{わたし}「^こ私の子どもはどこ？」

写真/イラスト：この本はCanva Education という
Canva アプリの教育版を使用して、同アプリ内の
写真などを加工し、メキシコに古くから伝わる民話「泣く女」
の再話者が本のイラストをデザインしました。

な おんな

泣く女

発行日：2022年10月20日

再話 じえにんぐす えのもと さなえ
：ジェニングス榎本 早苗

監修：NPO多言語多読



この作品はクリエイティブ・commons表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>